

尼崎市における特徴のまとめ例

1 高額な医療費となる原因疾病のうち、虚血性心疾患、大血管疾患、脳血管疾患など、「血管に関する疾患」が高率を占めており、基礎疾患として糖尿病及び高血圧を高率に合併していた。

2 医療が長期化し医療費が高額となる人工透析の新規導入者は、全市でここ 5 年間概ね年間 100 人ずつ増加しており、新たに 5 億 5 千万円の医療費増となっている。原因疾病として糖尿病が 4 割を占め、また基礎疾患として生活習慣病がある。内臓脂肪症候群が背景として考えられる事例も多い。

3 入院による医療は、1 件あたりの医療費が高く、特に脳血管疾患、虚血性心疾患では、入院発生件数がわずかでも医療費は入院外より多く、いずれも疾病ごとの全医療費の 50%以上を占める。

以上のことから、医療費適正化のためには、「血管に関する疾病」特に虚血性心疾患や大動脈疾患、脳血管疾患の発症をターゲットに、その背景にある生活習慣病予防を推進していく必要がある。

また、虚血性心疾患や脳血管疾患は、糖尿病の重症化として発症する大血管障害の一つとして発症しているケースや糖尿病の合併症として人工透析に至っているケースも多いことから、高血糖者の早期発見や糖尿病治療者に対する重症化予防にむけた早期介入を進めていくことが急がれる。

⑤保険者の生活習慣病の実態を分析する(6月審査分レセプトを用いて分析)

(様式 3-1~3-7)

※6月審査分(5月診療分)レセプトを分析(生活習慣病全体、糖尿病、高血圧、高脂血症、虚血性心疾患、脳血管疾患、人工透析)。

○全治療者の何割が生活習慣病か。(％の大きい疾患を探す)

○どのような生活習慣病がどのくらいの割合か。

糖尿病や高血圧症など、どのような生活習慣病が多いのか

○糖尿病の中で高血圧症は何％か。

例えば、糖尿病の中で高血圧症は何％かといった分析を行ってみる。

逆に高血圧症の中で糖尿病は何％かといった分析を行ってみる。

このように組み合わせによる分析を行うことにより全体像が見えてくる。

【分析の目的(実践にどのように活用するか)】

○ 対象集団の生活習慣病の実態を把握

→被保険者集団の特徴や健康課題を把握するため、複数の生活習慣病の罹患状況を調べ、糖尿病、高血圧症、高脂血症、虚血性心疾患、脳卒中、人工透析を要する慢性腎不全の疾病毎に分析。

【作業手順】様式3-1~3-7

- ① 1ヶ月分のレセプト(6月審査分)から、生活習慣病に関連するレセプトを抽出し、コピー。続紙もコピーを取る。
- ② 巻末資料集「レセプト分析のための実務」を参照し、レセプトの補記作業及びエクセルシートへのデータの入力作業を行う。
- ③ 入力したエクセルシートの「疾病番号①③④⑤⑥」の列を軸にして並べ替え、他の疾病との重なりを見る。
- ④ 疾病の重なり状況から、被保険者集団の特徴(どのような疾患が多いのか、どの年代から増えているのか、合併症の進行状況※等)を把握する。
※例えば、様式3-2「疾病番号①糖尿病」を軸にして見た場合、自分の被保険者は1次予防の段階で止まっているのか、それとももっと進んで腎障害、網膜症等、神経障害に至っているのかを把握することができる。
- ⑤ 健診データ、生活実態と照らし合わせて見ることで、どのような保健指導(治療の中での予防)が有効なのかを考える。